

# YEAR BOOK 2019

2018年度事業報告書

認定NPO法人  
自然再生センター

# Vision

未来につなげ、  
ふるさとの水辺

## 自然再生センターのめざすもの

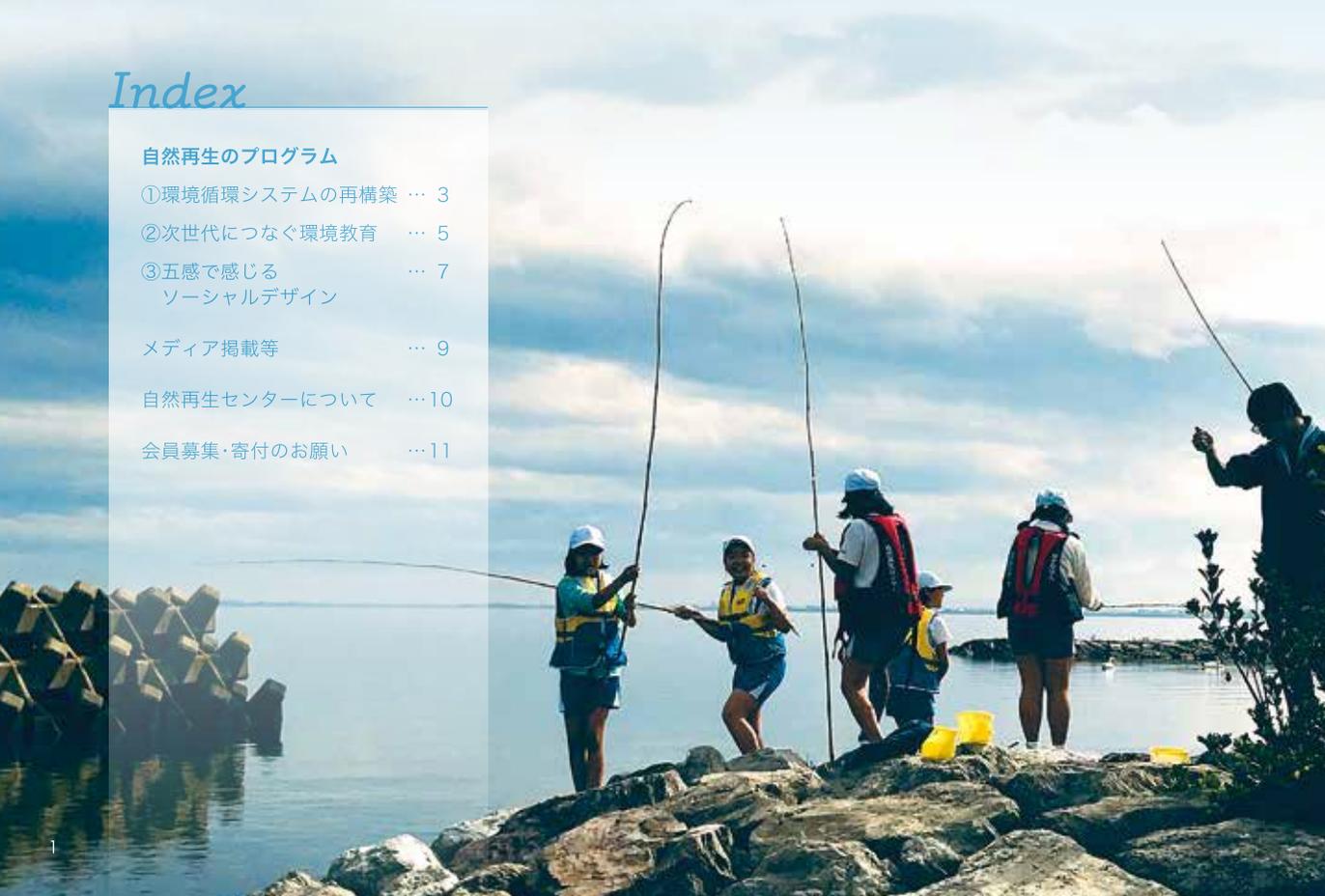
この法人は、住民・企業・行政・専門家等が連携し、中海・宍道湖を含むこの流域の自然環境の再生と、かつての湖と人々の親しい関係を再構築するための活動を行うことにより、豊かな恵みを感じられる持続可能な社会の実現に貢献することを目的とする。

(定款第3条 目的より)

## Index

### 自然再生のプログラム

- ①環境循環システムの再構築 … 3
- ②次世代につなぐ環境教育 … 5
- ③五感で感じる  
ソーシャルデザイン … 7
- メディア掲載等 … 9
- 自然再生センターについて … 10
- 会員募集・寄付のお願い … 11



2018の活動  
自然再生の  
プログラム



## 1 環境循環システムの再構築

### 「オゴノリング大作戦」事業

中海の海藻「オゴノリ」を活用し、持続可能な循環型モデルの構築を目指し、一般財団法人セブン-イレブン記念財団の2018年度環境NPO自立強化助成事業に採択されました。

2018年度は、中海に浮かぶ大根島の耕作放棄地を整備し大豆と里芋を栽培し、その畑で栽培・収穫体験のイベントを行いました。今後はより多くの方を巻き込み「オゴノリング」を強めながら、環境・人・経済の循環を構築し、「持続可能」な取り組みにしていきたいと考えています。

この事業は一般財団法人セブン-イレブン記念財団から環境NPO自立支援強化助成を受けて活動しています。



セブン-イレブン  
記念財団



## Report

### 一般財団法人セブン-イレブン記念財団様をお招きしました。

2018年11月1日に「ねえねえ、教えて！助成金を得るコツってあるの？」と題し、助成金セミナーを開催いたしました。一般財団法人セブン-イレブン記念財団様をお招きし、県内外からも多数のご参加がありました。



一緒に活動しよう！

部員  
募集中

マスコットキャラクター  
なかうみちゃん



今までよりもっと皆さんと一緒に活動していきたい！  
ということで2019年度より、「部活」を創設しました！

創部間もないですので、皆さんのアイデアをもとにどんな部活にするかを一緒に考えていきたいと思っています！楽しく「オゴノリング」を広げていきましょう！

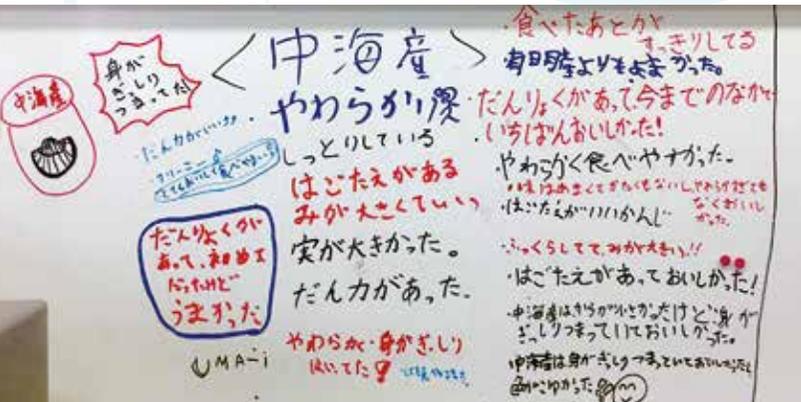
- 畑部…大豆・サツマイモ栽培、収穫、畑イベント企画・運営など
- 池部…畑の横の池開拓と生き物観察(予定)、池に関連するイベント企画・運営
- 販売部…農作物の収穫、農作物の販売に関わる企画、海藻肥料販売に関わる企画など
- 広報部…活動全体の広報(FBやブログなど)、写真撮影など



## 2 次世代につなぐ環境教育

### 八東学園での環境学習

認定NPO法人アサザ基金の飯島博さんを特別講師にお招きし、海藻の循環利用について学びました。「生きものとおはなしする方法」を教えてください、生きものと自然は“ありがとう”でつながっていて、同じように自然と人間も“ありがとう”でつながっています。「中海はありがとうでつながっているのか」を考えました。生きものと話してみても、自分の世界を広げたいと感じたのではないのでしょうか。



### 意東小学校での環境学習

年に6回の授業の中で中海を大好きになります。学習を始めた頃の子ども達は、中海について無関心の様子でした。地域の方の話を聞いて、問題に取り組む活動を知り、そして実際に中海で水や生き物に触れたことで心が変わっていきました。昔は中海の名物だった赤貝の復活を目指す漁師さんとの交流、また地域の方から伝統料理を教わって他県産の赤貝と味比べ。中海で育った赤貝の美味しさを体感した子ども達は、最後の授業「赤貝販売」にて、誇りと自信を持った姿で中海産赤貝の良さを伝えながら販売しました。また、命をいただくという大きな循環を身をもって体験します。地域のニュースとして毎年NHKの取材があります。





## 天神川の水草を刈る & 水質調査・生き物の観察会

夏の恒例行事として地域の皆さんとの協働によって、天神川に繁殖した水草を刈り取ります。刈り取った水草は大根島の畑へ搬入し、化学肥料に代わる土壌改善の資源として循環利用します。子どもたち楽しく水辺に親んでもらうための水質調査や生き物観察会も同時に実施します。

「きれいにする」という課題解決から、リピーターも増え、水辺に親んでもらう事業になりました。

企業の社会貢献という視点から、中国電力松江営業所の皆さんと会社前の天神川の水草刈りも展開しています。



### 3 五感で感じるソーシャルデザイン

#### 中海・宍道湖の食を広めよう会

中海・宍道湖と圏域の新鮮な食材を使った料理で、地元食への関心を高めるとともに、地域コミュニティとの接点づくりや、会員・寄付へとつなげる貴重な機会となっています。海と山のものをつんだんに使ったお料理は見た目も美しく、素材を大切にした味はおいしさとともに新しさがあり、地元の人にとっても毎回新鮮な発見がある内容となっています。センターの活動を知らない方の入り口となっており、会員同士が交流する機会にもなっています。近年では県外からのご参加者も増えその広がりを見せています。多様な人にとっての関心事である「食」を通じて自然と地域を取り巻く現状・課題を語ることで、センター活動への共感が生まれています。



#### 平成30年7月西日本豪雨ボランティア

平成30年7月豪雨により大きな被害を受けた、広島県安芸郡坂町小屋浦へ、中国ろうきんNPO寄付システム「災害発生時における緊急寄付配分」を活用し、仮設トイレの掃除や段ボールベッドの設置、傾聴などのボランティア活動をしました。

被災地での宿泊は、マツダトレーニングセンター<sup>たいび</sup>鯛尾をご厚意で利用しました。兵庫県立大学院減災復興政策研究科の学生さんと行動を共にし、防災研究の第一人者である室崎益輝教授にもソフト面での女性の感性の重要性や、SNS等と日常でのコミュニケーションでの情報発信、伝え方の使い分けなどご教授いただきました。現場では、様々な価値観の方が全国から集まっておられ、新しいコミュニティも生まれやすい場でした。

災害時には様々な面で迅速な行動が求められます。もし被災地になったらと考えた時に、当法人でも認定NPO法人の役割(寄付受入・ボランティア受入)等でゆるいネットワークを通じて対応する可能性を感じました。

## まちiテラス(MiT) ソーシャルデザイン勉強会

当法人の理事・監事が、地域の皆様に向けて理事・監事の活動やセンターとの関わりを発信しつつ、交流を深めようという趣旨のもとに、2018年度より開始した企画です。

理事同士が「どうしてセンターと関わっているか？」をキーワードに発表しています。そして、センターの理事・監事は「かっこいい!」と思っただけのように伝えたいと考えています。

2018年度はMiT7回開催/延べ71名、熊谷理事長によるソーシャルデザイン勉強会・シリーズ15回開催/延べ74名のご参加がありました。



	日付	担当	タイトル
第1回	2018年10月5日(金)	松本	「自然再生センターのSDGs的役割」
第2回	2018年11月22日(木)	國井	「宍道湖と松江堀川の水草は何故突然に繁茂したのかーその原因と対策ー」
第3回	2018年12月14日(金)	毛利	「組織と社会の持続性を考える～引っ込み思案な事務局長の35年の振り返り～」
第4回	2019年1月11日(金)	原田	「アナタの知らない組織の世界」
第5回	2019年2月8日(金)	桑谷	「AIとかICTとか愛とかが創り出す未来の仕事と教育。～知らんわ～では済まされNAI!～」
第6回	2019年3月8日(金)	渡部	「海藻回収の7年」
第7回	2019年4月12日(金)	田中	「水生生物を使った水質判定のやり方と普及啓発事業の提案」

## 中海圏域の利・活用プロジェクト

中海湖岸域の利活用プロジェクトは、「中海会議」で提案された事項を、個別ではなく相互関連に考慮し、「中海周遊サイクリングロード推進」のなかで、家族で自転車周遊を楽しむボタリングに注目して、場所の利活用提案を行うものです。米子高専建築学科と認定NPO法人自然再生センターによる共同研究です。

活動をまとめた提案は、中海湖岸域の風景をとりこむかたちで計画されており、来訪者が湖岸域に親しんだり、内外でお茶や軽食を楽しんだり、散策したりして、産直市の内外空間が融合する提案となっています。



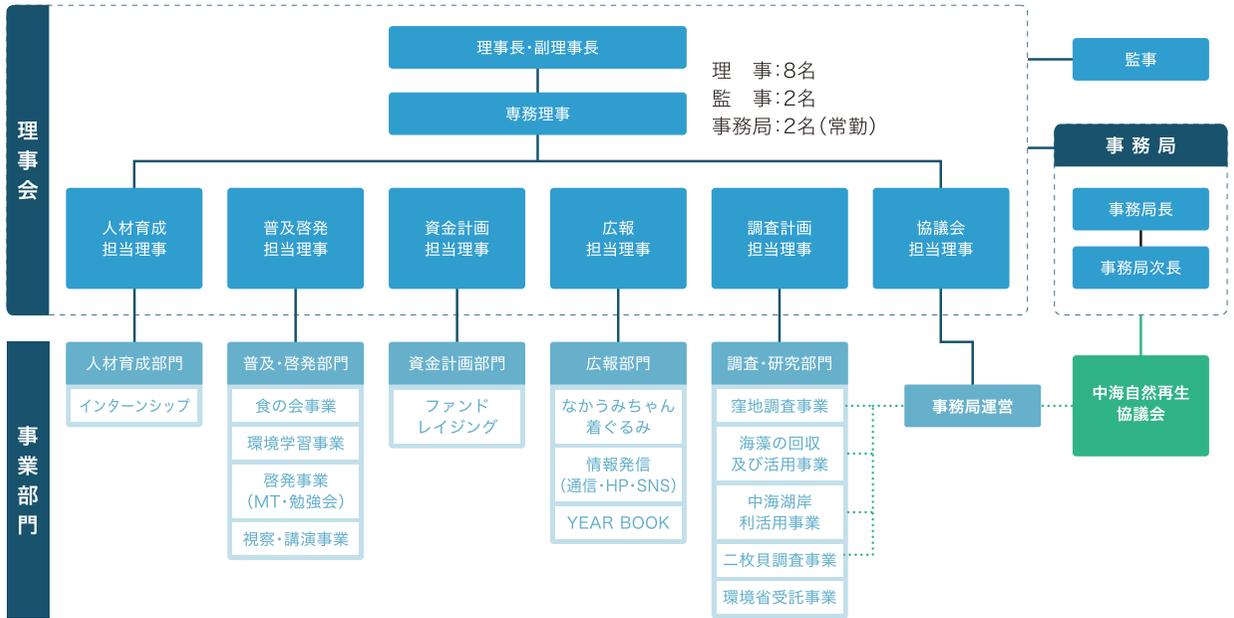
No	日付	新聞社	内容
1	2018/5/16	日本海新聞	水産業への理解深める境港総合高生 中海の藻刈りに汗
2	2018/5/17	中国新聞	中海オゴノリ循環学ぶ
3	2018/6/15	山陰中央新報	高校生が中海で藻刈り
4	2018/7/15	毎日新聞	天神川の水草 皆できれいに
5	2018/7/22	朝日新聞	調査で「生物たくさん」天神川で小中学生ら学ぶ
6	2018/9/20	山陰中央新報	中電新入社員が天神川で水草刈り
7	2018/10/15	電気新聞	水草刈り浄化に一役 地元・天神川で清掃活動
8	2018/12/12	山陰中央新報	中海産の赤貝 もうすぐ食卓へ 今年も品質向上
9	2019/1/14	日刊県民福井	子ども遊べる北潟湖再び 協議会発足 市民の関心高まり期待

No	日付	局	内容
1	2018/5/15	BSS山陰放送	境港総合技術高校 オゴノリ刈り
2	2018/7/9	マーブルテレビ	意東小中海クルーズ
3	2018/7/10	NHK松江放送局	
4	2018/8/8	マーブルテレビ	レッツ藻が〜る！ガールズサイエンスプロジェクト
5	2018/8/21	マーブルテレビ	キッズ内中原 大橋川で遊ぼう！
6	2018/9/19	NHK松江放送局・日本海テレビ・BSS山陰放送	中国電力松江営業所 天神川の水草刈り
7	2018/9/21	マーブルテレビ	内中原小「堀川や宍道湖とわたしたちの暮らし」
8	2018/10/3	BSS山陰放送	内中原小堀川いきもの調査
9	2018/12/6	NHK松江放送局・日本海テレビ・BSS山陰放送	意東小赤貝調理・食べ比べ
10	2018/12/18	NHK松江放送局・日本海テレビ・BSS山陰放送	意東小赤貝販売

日付	種類	視察者	視察内容
2018/4/14	視察	環境系事務局長が吠える会	NPO組織基盤強化ミニシンポジウム／活動を次世代につなぎ隊
2018/6/25	視察	島根県議会	建設環境委員会 県内調査
2018/10/5	視察	駒澤大学 平井ゼミ	自然再生センターの取り組みについて
2018/10/12	視察	島根県環境生活課(石見の家)	認定NPOの運営について
2018/11/9	ヒアリング	アジア航路株式会社	活動資金の持続的な取得や人員の確保に対する取り組み
2019/1/18	視察	一般社団法人 水底質浄化技術協会	中海浅場造成事業(宍道湖・中海)に関するヒアリング調査のお願い
2019/3/7	視察	環境省	中海自然再生協議会について

日付	種類	主催	催事名	講演タイトル	講演者
2018/5/26	事例報告	一般社団法人日本環境NPOネットワーク (Jens-net)	オープンセミナー	「ステイクホルダーと共に歩む中海の自然再生」	小倉
2018/6/21	講演	島根大学附属中学校 総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	「自然再生は、地域再生～一人ひとりが、地域の資源～」	小倉
2018/8/10	講演	しまね国際センター (JICA草の根技術協力事)	日本のNPOの現状を知る	「Natural restoration center」	小倉
2018/7/30	講演	環境省関東地方環境事務所	環境省の管理施設の今後の運営	「中海の包括的再生～自然再生推進法に基づく再生と認定NPO法人～」	小倉
2018/9/22	講演	公益財団法人とっとり県民活動 活性化センター	NPO大学Vol.3 「NPOの評価と支援とガバナンスのより良い関係」	「私たちの組織イノベーション～大失敗?!それとも成功?!～」	小倉
2018/10/12	講演	シマネスクにびき学園	地域活動体験	「自然再生センター的「つながり」と循環～共感から行動へ～」	小倉
2018/11/15	講演	一般社団法人 日本太陽エネルギー学会	日本太陽エネルギー学会・ 日本風力エネルギー学会合同研究発表会	「ソーシャルデザインを目指す認定NPO法人自然再生センター」の活動」	熊谷
2018/11/15	発表	島根県立松江南高等学校・卒業生会 「矢の原会」	第3回地元企業ガイダンス	「NPO職員」という仕事」「NPOって知ってますか」	中浜 佐草
2018/12/5	講演	出雲市総合ボランティアセンター	平成30年度コミュニティセンターとの連絡会	「初めての現地支援で感じたこと～近隣の県なら現地へ～」 (広島県坂町でのボランティア活動について)	小倉
2018/12/15	アドバイザー	公益財団法人とっとり県民活動活性化センター 共催:鳥取県	非営利団体のための助成金・寄付金セミナー 共感の和をひるげる資金獲得	-	熊谷
2019/3/1	評価委員	中国四国地方環境事務所	中国環境パートナーシップオフィス等 第5期評価委員会	-	小倉
2019/3/23	講演	北潟湖自然再生協議会/あわら市生活環境課	第3回北潟湖自然再生協議会	「中海の包括的再生～自然再生推進法に基づく再生と認定NPO法人～」	小倉
2019/3/24	ゲストトーク	北陸グリーンインフラ研究会	2019年研究会 グリーンインフラを支えるコミュニティ	「里海のブルーインフラ～宍道湖・中海編～」	小倉

# 自然再生センターについて



## ○役員

- 〈理事長〉 熊谷 昌彦 (米子工業高等専門学校名誉教授)
- 〈副理事長〉 渡部 敏樹 (自然農法園「さかい夢の浜」農園長)
- 國井 秀伸 (島根大学名誉教授)
- 〈専務理事〉 小倉 加代子 (自然再生センター事務局局長兼務)
- 〈理事〉 桑谷 猛 (奥出雲町教育魅力化協議会統括プロデューサー)
- 田中 秀典 ((公財)島根県環境保健公社)
- 毛利 葉 ((公財)とっとり県民活動活性化センター常務理事・事務局局長)
- 原田 守 (有限会社ポイントアンドライン取締役社長)
- 〈監事〉 松本 一郎 (島根大学大学院教育学研究科副学部長・教職員大学院専攻長)
- 河野 美江 (島根大学保健管理センター教授・学長特別補佐(男女共同参画担当))

## ○受託事業

平成30年度社会的評価手法の全国での活用に向けた試行・検討業務:環境省



## ○中海自然再生協議会の運営業務

2013年に同法人が認定NPO法人格を取得し、協議会の事務局として、また、自然再生事業の実施者として多様な主体との連携のもと、活発な取組を行っています。なお、事務局が民間団体であっても、法に基づく協議会のもと、島根・鳥取両県をはじめとする行政機関の積極的参加が行われています。

第2期実施計画に基づき、「海藻類の回収及び活用事業」(P.3)「浚渫地の環境修復事業」「有用二枚貝(サルボウガイ)の復活を目指す事業」「中海湖岸域の利活用プロジェクト」(P.8)の4つの事業を実施しています。2018年度は協議会を2回開催し、2月16日の第4回協議会では、中海自然再生協議会の10周年を記念し、高安克己初代協議会会長をお迎えし講演会を開催いたしました。



## ○法人活動を考える「見える化ツール」開発(環境省)

主に中海自然再生協議会が実施している取組を社会的な観点から評価し、社会学の専門家である菊地直樹氏(金沢大学人間社会研究域附属地域政策研究センター 准教授)の助言を受けながら、全国でも活用できる汎用性のある社会的評価手法を検討しています。行政を含めた試行的実施を上サロベツ自然再生協議会と榎野川河口域・干潟自然再生協議会にて開催しました。

## 共感・ご参加ありがとうございました

会員数	現在の会員数*	年会費	議決権	特典
正会員	102名	5,000円	有	年2回の資料送付 各種イベント案内 イベント参加費の割引
賛助会員(個人)	76名	3,000円	無	
賛助会員(団体)	18団体	30,000円	無	年2回の資料送付 各種イベント案内
窪地会員	9団体	20,000円	無	

\*2019年3月末時点

### ○賛助会員(団体)50音順・敬称略

アジア建設工業株式会社/一般財団法人宍道湖西岸森と自然財団/今岡ガクブチ店/カナツ技研工業株式会社/株式会社板倉重機/来待石灯ろう共同組合/公益財団法人ホシザキグリーン財団/サンイン技術コンサルタント株式会社/中国電力株式会社/東洋ソーラー株式会社/中海漁業協同組合/中浦食品株式会社/平井建設株式会社/松江土建株式会社/美保テクノス株式会社/和光産業株式会社 他

### ○一般寄付

延べ161件 うち団体11件・個人150件

2018年度にご寄付いただいた団体(50音順・敬称略)

アジア建設工業株式会社/板倉歯科医院/NPO法人未来守りネットワーク/株式会社さかや/湖北つきはしくリニック/サンイン技術コンサルタント株式会社/美容室ランデブ・リアン/平井建設株式会社/松江市立意東小学校/美保テクノス株式会社/連合島根松江隠岐地域協議会

### ○寄付の方法について

- 【お振込み】 ①山陰合同銀行：島大前支店(100)普通3677682自然再生センター  
②ゆうちょ銀行：記号番号15320-8063331特定非営利活動法人自然再生センター  
③その他の金融機関・・・店名：五三八 店番：538 普通0806333
- 【クレジット】 自然再生センターの公式ホームページからお手続きください。

### 認定NPO法人 自然再生センター

〒690-0064 島根県松江市天神町114  
Tel:0852-21-4882 Fax:0852-61-0900  
E-mail:info@sizen-saisei.org



当法人はSDGsを実践しています。  
SDGs…17の目標と169のターゲット  
からなる「持続可能な開発目標」

最新情報を毎日発信しています。  
フェイスブックページ  
<https://www.facebook.com/sizen.saisei/>



お振込み方法・イベント申込み  
ウェブサイト  
<https://www.sizen-saisei.org/>



本冊子は皆様からの会費・寄付により作成させていただきました。  
ありがとうございました。